

回 覧

防災講話会報告(2021年〔令和3年〕7月)

天嶽院下自治会

日 時 : 2021年〔令和3年〕7月17日(土) 10時00分～12時00分
場 所 : 村岡市民の家
出席者 : 会長・役員・会員 出席者数 : 18名

会長の講話を通じて、地域の防災について皆さんと一緒に考える機会としました。

<講和概要>

① 写真と映像による災害事例（地震・津波編）紹介

3.11 東日本大震災の被災事例から減災に向けて、何ができるか考えましょう！
ビデオ『3.11 激震と大津波の記録』（宮城県仙台市）

② 村岡地区の災害事例紹介（最近の事例より）

●2019年 台風15号被害

各家庭の雨樋、室外機、駐車場の屋根、瓦等が飛ばされた被害あり。
御幣下公園ではベンチ破損、水銀灯頂部折れ曲る、樹木の倒木等の被害あり。

●2020年 ゲリラ豪雨被害

豪雨のため下水処理ができず、逆流防止便がない家庭のトイレに下水が逆流した被害あり。

③ 村岡地区の防災について

●防災むらおか5号（各家庭に配布済み）で、防災マップや、風水害&大地震への備えを再認識

- ・一時避難場所：御幣下公園（震度5強以上の場合）
- ・大地震への備えとして、家具が倒れないように固定し、室内の安全確保をする。
また、水・食料を備蓄しておくことが必要です。
- ・風水害については、実際に風水害におけるマイ・タイムラインを作っておくことが重要。また洪水ハザードマップ、防災マップで身の回りで想定される被害を知っておくようにしましょう。
→高齢者の避難は早めがいいが、大雨や強風の中での避難は危険です。身の安全を優先し、自宅での垂直避難を行う等の対応も考えましょう。

<質疑応答>

(1) ご意見：弥勒寺4丁目付近で、大雨時に汚水・雨水があふれた場所があります。
→市の土木関連部署に連絡し、その都度対応をしてくれていますが、根本的な原因を探るには、広範囲に掘り起こし調査を実施しないと原因がわからない状況で時間がかかっていると聞いています。

(2) 一時避難場所（御幣下公園）について

ご意見：当公園は土砂災害危険区域のすぐそばにあり、適切ではないのでは？
赤坂下公園ではだめ？ 一か所にしない方がいいのではないか？
→一時避難場所を御幣下公園にしているが、ここに決めた経緯は不明。
この場所では、「震度5以上」の地震が発生した際に、自治会自主防災本部を立上げ、会員世帯の安否確認等の活動を行います。
よって、一時避難場所としては問題ないと考えています。

ご意見：訓練時の一時避難場所から、指定避難所（藤ヶ岡中学校）までの避難ルートはどうなっていますか？

→訓練時は階段を使用せず、オリンピック沿いの県道の側道を登って移動することにしています。
しかし、実際の災害時の指定避難所への避難ルートは、各世帯でどのルートが避難し易いか、事前に確認をお願いします。

(3) ご意見：大雨の時と地震の時の避難方法等が違うので、ケースをつくって対応プランを提示したほうがいいのではないか？

→各世帯の事情に応じて、それぞれ避難方法等について、対応プランを検討していただくのが良いと考えています。
参考程度の対応プランを提示する必要があるれば、検討したいと思います。

以上